

発行所
八尾市消防団
発行責任者
八尾市消防団長
向井正雄
八尾市高美町5-3-4
TEL (072) 992-0119
FAX (072) 992-7722
H26-00




消防出初式



平成26年1月13日 大阪府中部広域防災拠点

新春の初頭を飾る恒例の八尾市消防出初式が、平成26年1月13日(月)に挙行され、消防職員・団員451名、消防車36台が大阪府中部広域防災拠点で一堂に会しました。

昨年は、雨天のため屋内での式典となりましたが、今年は、気温こそ低いものの晴天に恵まれました。

待望の女性団員が加わった今年の出初式は、迫力ある大阪市消防局航空隊ヘリコプターの祝賀飛行で幕が開けました。

その後、幼年消防クラブによる花束・メッセージ贈呈、国旗掲揚、黙とうが行われ、徒歩部隊・車両部隊の分列行進へと展開しました。

整列後は、市長式辞、消防団員表彰、市議会議長祝辞、消防長答辞の後、消防救助隊による訓練が披露されました。出初式のラストを飾った一斉放水では、幼年消防クラブ員・消防職員・団員による放水で、大空に見事な水のアーチが浮かび上がりました。

その後、国旗降納が行われ出初式は幕を閉じました。

会場の方々には、勇壮な分列行進及び一斉放水を熱心にご覧いただき、八尾市消防団の存在をアピールできたのではないかと思います。

(山本分団 岩田 兼一)

※参加隊員の感想を3面に掲載

地域防災力の要として



団長 向井 正雄

皆様には、平素から地域の安全・安心を守るため、昼夜を分かたず防火・防災活動にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

昨年の4月1日に八尾市消防団長を拝命し、皆さんのご協力を得ながら、様々な行事を無事にこなせてくれましたことに、併せて感謝申し上げます。

特に、9月の大阪府消防操法大会では、南東方面隊が一丸となって小型ポンプ操法訓練の部で見事優勝を勝ち取り、平成22年度の南西方面隊に続いて連覇を成し遂げ、私も誇りに感じている次第であります。

さて、昨年の災害状況を振り返りますと、10月の台風26号による伊豆大島での土砂災害では、多くの方の尊い命と貴重な財産が失われ、私も防災機関の地域防災を担う者として誠に残念で痛恨の極み

であります。

また、近年、南海トラフ巨大地震や首都直下型地震等の発生が危惧されており、市民の防災に対する関心は非常に高まり、消防団への期待も一層大きなものになっております。

こうした中、地域防災力の充実強化を図り、住民の安全を確保する事を目的とした「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が昨年12月に公布・施行されました。

この法律は、国や地方公共団体に對して、消防団員の確保、処遇改善、装備の充実等の必要な措置を取る事を義務付けたもので、我々消防団員にとっては非常に心強い法律であると喜んでおります。

八尾市消防団におきましても、複雑多様化する様々な災害に対応し地域防災の要としての重責を果たすため、施設の整備、積載車の更新、現場活動用の資機材・装備の充実を図ってまいりる所存でございます。

最後に、団員の皆さん、そして日頃から団員を支えていただいております、ご家族の皆様のみならず、ご健勝と地域の安心・安全と更なる発展を祈念いたします。

大阪府消防表彰受章

平成26年3月23日(日)平成25年度大阪府消防表彰式が行われ、本市からも知事表彰をはじめとして多くの団員が栄えある表彰を受章しました。

【大阪府知事表彰】

- ◎消防功労章
 - 高安分団 分団長 植野 勇
 - 龍華分団 副分団長 辻村 良弘
 - 志紀分団 副分団長 森脇 和信

【日本消防協会定例表彰】

- ◎勤続章
 - 志紀分団 分団長 小西 繁夫
- ◎精績章
 - 団本部 副団長 阪本 俊勝

【大阪府消防協会定例表彰】

- ◎功績章
 - 団本部 副団長 松村 康正
- ◎勤続章
 - 曙川分団 分団長 松田 悦治
 - 志紀分団 副分団長 山口 光宏
 - 志紀分団 副分団長 吉内 直之
 - 曙川分団 部長 吉村 孝司
- ◎勤功章
 - 西郡分団 副分団長 緒方 靖司
 - 南高安分団 副分団長 川崎 義正

- ◎精勤章
 - 南高安分団 副分団長 小林 久男
 - 南高安分団 副分団長 杉田 晃
 - 高安分団 副分団長 近藤日出男
 - 山本分団 副分団長 和田 耕治

【平成25年度大阪府水防表彰】

長年にわたり水防に尽力した功績から向井団長が「大阪府水防表彰」を受賞され、国民会館で授与式が執り行われました。

団長 向井 正雄



歳末警戒(一人暮らし防火診断)

平成25年12月21日(土) 山本分団担当区域内の一人暮らし防火診断が、消防署員と消防団員の合同で実施され、一人暮らしの高齢者のお宅に、住宅用火災警報器の設置状況の確認・火災予防に関するパンフレットを配布して巡回訪問しました。

訪問先では、一人暮らしである高齢者の方に不信感を与えることがないように、慎重に接することが必要でした。

私も少しの時間、話をさせていただきますますが、その中で印象的だったのが「消防団の消防車が巡回しているのを見ると安心する」とおっしゃっていただいたことでした。

このお宅では、家族の方がよく手伝いに来られている様でしたが、一人暮らしでの不安な一面を感じ取ることができました。

消防庁の「平成24年(1~12月)における火災の概要」によると、住宅火災による死者(放火自殺者等を除く)1017人のうち、65歳以上の高齢者は677人と、高齢者の割合が6割を超えています。

一人暮らしの高齢者は、火災発生時に避難が困難となるため、今

回のような火災予防に関する呼びかけは、とても重要なことだと思えます。

また、消防団員として、大規模災害発生時にこのような高齢者の方々に対し、避難誘導等で力になれるよう、日頃の活動に取り組んでいきたいと思えました。

(山本分団 岩田 兼一)



↑川西百々子さん(好文学園高校3年)が描いてくれました。

歳末特別警戒(激励巡視)

平成25年12月29日(日)から30日(月)の二日間、歳末特別警戒が実施されました。

寒波の中、各屯所において向井団長より一年を振り返っての労いと新年に向けての身の引き締まるお言葉をいただくとともに、初の女性団員になられた藤本団員が、この一年を振り返り心のこもった挨拶をされました。

各地区で、皆が無事に新年を迎えることができるよう夜遅くまでパトロールを実施しました。

(大正分団 木田 宗利)

若手消防団員研修会

平成26年2月23日(日) ホテルアウィーナ大阪において、府内の次世代を担う若手消防団員が相互の情報交換を通じて、府内消防団の充実発展と地域防災力の向上のため今回初めて若手消防団員研修会が実施されました。

研修では、元三重県松阪市消防団長の講演の後、グループに分かれての課題討議、意見交換会が行われました。

八尾市消防団からは、広報部会から竹下委員長、木田副委員長、私の3名が出席しました。

府内の消防団員と消防団の現状・活動内容・問題点・改善方法・操法大会など熱く語り合い、他市消防団員の方と交流を深めました。



(西郡分団 坂根 和男)

山本分団上尾分隊

出初式一斉放水に参加して

【塚尾 誠一】

今年の出初式の一斉放水に機関員として参加しました。

落ち着くことを心がけ、無事に機関員としての役目を果たすことができました。

新しい年を迎え、今後も迅速な消火活動にあたるよう努力することを決意しました。

【川田 剛】

一斉放水は、2回目の参加ですが、今回は、筒先員として参加しましたので緊張しました。

でも、みんなで協力できたので、何とかうまく放水できたと思います。

これからも上尾分隊一致団結して頑張っていきたいです。

【辻井 規宏】

八尾市消防出初式の一斉放水に分岐管担当として初参加させていただきました。

この伝統ある出初式の一斉放水に参加したことを機会に、さらに防災意識を高め、「自らの地域は自らが守る」という精神に基づき、なお一層尽力したいと思えます。

初めての女性団員として

平成25年4月に八尾市で初めての女性消防団員として入団してから、今まで経験したことのない貴重な体験がたくさんありました。まず一番感じたのは、消防本部消防団の役割について、知らない事があまりに多いことです。

年間に亘って行われる多くの行事のどれもが初めての経験で、とても新鮮でした。

東大阪市・八尾市が合同で行う「恩智川水防訓練」や東大阪・柏原市・八尾市が合同で行う「中河内地区支部総合訓練」では、皆さんの一致団結された消防・防災活



動に圧倒され、「消防団基礎(初任)教育訓練」では、消防団員として必要な知識を学びました。

また、大阪府下の消防団員が集まって行われる「大阪府消防大会」では、八尾市消防団南東方面隊の皆様とのこれまでの努力が実り優勝するという感動を一緒に経験させていただきました。

他にも春と秋の火災予防運動、防火フェスティバルにも参加、知らなかった行事が身近なものになり、今までは異なる視点で地域防災について考えるようになりました。

印象的だったのは「歳末特別警戒」の激励巡視です。

八尾市内の全ての消防署及の消防団各屯所への激励巡視に同行させていただき、八尾市内の地域防災をこれだけの力で支えているのだということ強く認識できました。

1月には、初めての出初式も経験し女性団員への期待を改めて感じました。

来年度からは女性団員も増えますので、女性ならではの視点で地域防災のお役に立てるように、いろんなことにチャレンジしていきたいと思えます。

(団本部 藤本 幸代)

消防団に関するQ&A

八尾市の老原関電広場で平成25年11月16日(土)市内の施設『ライフサポートおいら』『共同作業所 風』『Pica Pica 作業所』による「第2回鉄塔の下グリーンフェスタ」が開催されました。

雨が上がって晴天に恵まれ、気ぐるみのキャラクターが会場を盛り上げるとともに、地域の消防団の消防車が展示され、子供たちが大喜びで写真を撮っていました。その会場で消防団に対する沢山の質問があったので、Q&A方式で回答を紹介します。

【Q & A】

Q 消防団は、どのような仕事をしているのですか？

A また、何処の火事にも行くのですか？

A 各分団に決められた地域の火災における消火活動や水害などの災害対応、また地区の運動会や行事等に参加しています。

Q 火災発生時、どのようにして連絡が入るのですか？

A 消防本部から電話で合成音声による連絡が入ります。

Q サイレンを鳴らして走行するときは怖いですか？

A 怖いというより、周りのことにすぐく気を使います。赤信号を通過する時は、特に気を使います。

Q 仕事をしているときに火災指令が出たときは、必ず出勤しなくては行けないのですか？

A 私自身は、職場が大阪市内という事もあり、平日昼間の火災は出勤できませんが、仕事帰りなどに火事があれば現場に行けるように、活動服などを車に積んで用意しています。



(志紀分団 松本 直也)

龍華分団紹介



我々、龍華分団は平成26年度から岸分団長が北西方面隊長に昇任され、新分団長に岡田部長が就き新しい組織に変わります。

分団の主な活動は、毎月2回夜間にパトロールを行い、月末に分団会議を実施し、分団会議の次の日曜日に、亀井中学校前の平野川で放水訓練を行っています。

地域での活動は、盆踊り大会の交通整理や、地域フェスタでは地域の人に小型ポンプの使い方を説明しています。

屯所も組織も新しくなることから龍華分団一丸となり頑張ってくださいと考えています。

(龍華分団 中家 一真)

消防団とは？

火の見櫓を知っている方は「消防団」のことをご存知かと思いますが、私自身知り合いに地元消防団に入っていることを伝えると、「消防団？」「青年団みたいなもの？」「消防士、何？」の様な反応が度々あり、あまり知られていない団体、活動なのかなと感じることがあります。

今更な感じでもありますが、消防団のことを書かせていただき少しでも消防団のことを分っていただければと思います。

消防団のルーツは江戸時代の8代将軍吉宗の「町火消し」が始まりと言われ、時代によって名称が変わり現在の消防団に繋がっています。

消防団員は、消防職員とは違い各々様々な職についており、災害時に出勤し対応しています。

消防団は、市町村の管理下であり、消防団員は特別職の地方公務員という立場になります。

火災・災害時の対応や消火や災害時を想定した訓練、予防広報活動等、各地域に根ざした活動をしています。

消防団に入ると、出動指令があれば仕事を休んでまで活動しなければいけないのか？と思われるかもしれませんが、できる範囲での出動となりますので、私自身も指令があっても出動できないことが度々あります。

火災現場でも消火活動以外に活動の妨げにならない様に交通整理や避難の補助も行っていきます。

ここからは、消防団に入って私自身が感じたことですが、色々な職業、年齢の方も居られるので、

普段あまり接することの無い方も接する機会が増え自分の知識が増えました。

また、地域に根ざした活動ですので自然と地域への愛着が湧いてきました。

入団すれば苦勞することもありますが、得ることのほうが多いと思いますので、興味のある方は、消防本部までご連絡ください。

(志紀分団 宮平 誠二)

消防クロスワード

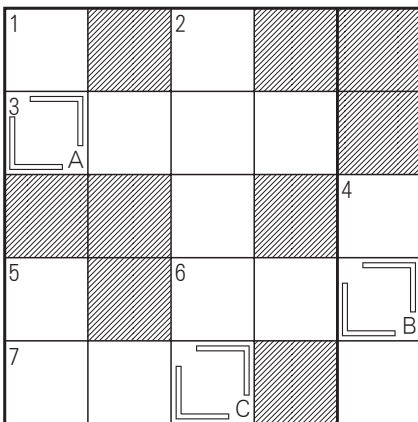


コーヒーブレイク

下のクロスワードを解いてA~Cの文字をつなげた言葉が答えだよ。

【答え】

A	B	C
---	---	---



【タテのカギ】

- 1 消防団の精神は、高潔○○だ。
- 2 あ、火事だ○○○○○持ってきて。
- 4 かけがえのない○○○。
- 5 明治27年の消防団。消防○○。

【ヨコのカギ】

- 3 防災は、地域との協力が○○○○。
- 6 マッチ一本○○○もと。
- 7 訓練でしっかり○○○して、一人前の団員に。

答えは次号に掲載します！

機関員研修

平成25年11月17日(日)消防団特別教育(機関員研修)が、大阪府立消防学校において実施され、大正分団の乾分団長と山本分団の村島分団長が参加されました。

この研修は、機関員として必要な基礎知識と技術を習得することを目的としています。

午前中は、座学で可搬ポンプ積載車等の構造や点検・故障時の対応などの説明が行われました。



- 【可搬ポンプについて】
- 小型で軽量・高馬力である。
- 人の手で持ち運びができる。
- 中継送水で長距離の消火活動が可能など。
- 【運用時に多いトラブルは】
- 水抜き忘れによる凍結破損。
- ガソリンの劣化。
- バッテリー上がりによる始動不能など。

【ポンプ運転後は】

- 水抜きをする。
- 燃料を満タンに補充する。
- 劣化(臭いの変化)水の混入があれば処分交換するなど。
- さまざまなことを学ばれたそうです。

午後からは、実際に4基の可搬動力ポンプを使用し、中継送水訓練等の実技研修が行われました。その研修について、乾分団長に取材しました。

『ポンプ取扱いには十分な注意を払い、日頃から点検を行い、いざという時にはすぐに使用できるように準備を心掛けていかなければならないと改めて感じました。また、大正分団は、管轄内に大和川が流れており、災害時には遠距離送水により水源確保ができると考えております。』

今回の研修を通じて学んだことを分団に持ち帰り、今後の災害活動に活かせるよう伝えていくとともに、一人ひとりの技術の向上に努めていきたい」と言っておられました。

私も、火災現場で常に最良の状態で出動できるよう気持ちを新たにしました。

(大正分団 戸澤 勝彦)

消防団120年・自治体消防65周年記念大会



平成25年11月25日(月)東京ドームにおいて、『消防団120年・自治体消防65周年記念大会』が、天皇后両陛下ご臨席のもと盛大に執り行われ、全国の消防団員・消防職員等3万7000人が出席。八尾市消防からは藤原消防長・向井消防団長以下、12名が参加しました。

式典では、東日本大震災をはじめ殉職した団員・消防職員に対して黙とうした後、消防活動に貢献した個人・団体への表彰が行われ、約百年前の手動ポンプや現在の消防車を使った放水演技や、大地震

を想定した救助訓練が実施されました。

また、ゲストに水前寺清子さんや布施明さん、AKB48らも登場盛り沢山の内容に大いに盛り上がりました。

会場を埋め尽くす消防団員の雄姿は黒一色でまさに圧巻、消防団のより一層の強い団結と、益々の充実・発展に向けた決意を新たにするとともに、120年の歴史をあらためて認識できた、有意義な大会参加となりました。



(団本部 藤本 哲也)

文化財訓練

平成26年1月31日(金) 歴史民俗資料館で行われた文化財訓練に高安分団から、分団長・副分団長・部長の4名が参加しました。

訓練当日は、晴天に恵まれ、消防団員は、本部救急隊と協力し、

- ① 応急救護所の設置。
- ② 資機材の搬送。

③ 要救助者3名の介添え搬送などの訓練を行いました。

訓練を受けた団員の感想を紹介させていただきます。

【山中 篤 副分団長】

『本番さながらの緊迫感の中、三角巾を使った応急処置の訓練を経験することができ、いい勉強になりました。』

これからは、訓練で学んだ経験を活かして、災害時は率先して活動したいと思います』

【小田 篤史 副分団長】

『当日の打ち合わせで救急隊の隊長より「救出された3名の要救助者の内2名は、頭部と腕を負傷している。三角巾で応急処置をしてもらいたい」との活動要請がありました。』

事前に救急隊から三角巾を用い

た応急処置の方法を教えていただいたおかげで、訓練本番には慌てることなく応急処置を行うことができました。

普段あまり機会のない応急処置の経験をさせていただいたので、この経験を今後の消防団活動に活かしていきたいと強く思いました』



【米田 政樹 部長】

『分団長が号令の練習をするなどの緊張の中、三角巾を使つての腕、頭を負傷した要救助者の応急処置の方法を教わりました。』

救急隊員のような素早く、無駄の無い動きをこれからの高安分団も

目指していきたいと思えます』

この応急処置の方法を我々団員にも教えてもらい、高安分団全員が素早く実践できるように訓練していきたいと思えます。

(高安分団 錦織栄夫・樋口雄一)

秋季消防総合訓練

平成25年11月20日(水) 八尾市緑ヶ丘の生涯学習センターにおいて、秋季消防総合訓練が行われました。



消防団からは、北西方面隊より藤本方面隊長、横山分団長、岸分団長、影中団員と私の計5名で参加いたしました。

訓練内容は、生涯学習センター3階より火災発生という想定のもと、要救助者の搬送及び誘導、降下訓練、放水訓練です。

多数の見学者が見守る中、生涯学習センターより火災発生という通報を受けた消防職員と消防団員が現場に到着、同時にはしご車、救急車、ポンプ車がサイレンを鳴らして現場に到着しました。それと同時に、1階エントランスより要救助者が消防職員の誘導のもと搬送されてきました。

このとき私が消防団員の指揮者として、「要救助者搬送！」と号令をかけ無事に要救助者は搬送されました。

その後、消防署の放水・降下訓練と続き、滅多に見られない光景に、見学者の皆さんからは、拍手と感嘆の声があがっていました。

今回の訓練を終え、この先に予想される大災害に備える意味でもこのような訓練には積極的に参加するべきであると思えました。

(八尾分団 鈴木 卓也)

厚生事業(ボウリング)

平成25年10月5日(土)に厚生事業としてボウリング大会が、八尾ボウルアローにおいて行われました。

田中八尾市長をはじめ169名が参加し、山本分団の岩崎由喜雄氏が優勝しました。



【結果】
優勝 山本分団
準優勝 団本部
3位 大正分団
団体優勝 高安分団

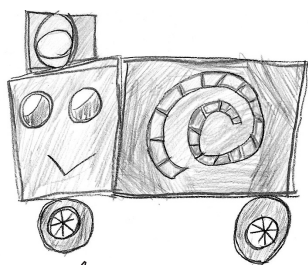


岩崎由喜雄
松村康正
山内聡
奥野幸生
樋口善史
稲本篤彦

広報部会では、団員の皆様から

「こんな特集を組んで欲しい」等、火の見櫓で取り上げて欲しい記事を募集しております。

今回、広報部会で募集したところ、二名のお子様からキャラクターの投稿がありましたのでご紹介します。



さいれっち

大津 美希子さん(長池小4年)
消防のキャラということで消防車にしました。また、消防車であることにより防火意識が高まると思いました。

しょうかくん



戸澤 愛梨さん(龍華中1年)
消防団の方々が一人のけが人を出すこともなく、消火活動ができるようにとの思いで描きました。

※ご意見・ご要望がございましたら、お気軽に広報部員まで!!

健康診断

平成25年11月9日(土) 健康診断が実施されました。

診断結果は、様々でしたが健康管理も職務の内かと思えます。しっかり自己管理しましょう。

運動内容・時間	消費カロリー(kcal)	食品だと
ウォーキング 30分	100	プリン 1個
サイクリング 20分	100	バナナ 1本
ジョギング 20分	200	ごはん 1杯
水泳クロール 20分	150	アイスクリーム 1個
なわとび 30分	250	ドーナツ 1個
なわとび 60分	500	やきそば 1皿
ジョギング 60分	600	えびピラフ 1皿

食べすぎ注意!



運動と消費カロリーの目安だよ!!

編集後記

皆様のおかげで、無事33号発刊となりました。お忙しい中、度々お集まりいただき有難うございました。会議では、多々意見を交換し合い、協議し、団員による団員の為の「火の見櫓」となりました。ご協力いただきました皆様、本当に有難うございました。(竹下 健一)

◎ 広報部員名簿 ◎

- ▼委員長 山本分団 竹下 健一
- ▼副委員長 西郡分団 坂根 和男
- ▼委員 大正分団 木田 宗利
- 久宝寺分団 田口 裕晃
- 西郡分団 赤岩 孝浩
- 八尾分団 鈴木 卓也
- 龍華分団 岡井 健太郎
- 曙川分団 兼山 真一
- 大正分団 戸澤 彦治
- 南高安分団 北岡 善宏
- 高安分団 長峰 輔
- 西郡分団 西山 博
- 錦織 栄治
- 樋口 雄一
- 岩田 兼一
- 山本分団 松本 直也
- 志紀分団 宮平 誠二